

4万人以上の親子に講座を実施してきたmamagaku学長が登壇

無料オンライン
セミナー

小中学生でも遅くない!

これからの時代に必要な“熱中力”を伸ばす。

子どもとの新しい信頼関係の作り方

開催日時

① 12/11(土) 10:00~11:30 ライブ配信

② 12/15(水) 11:00~12:30 ※録画

③ 12/16(木) 21:00~22:30 ※録画

※2回目以降は1回目の録画配信となります。

参加対象

- 学習塾、スクールの経営者、
教室関係者
- 小中学生のお子様を持つ保護者様

mamagaku 学長
一般社団法人子育て
デザイン総合研究所 理事
新井 美里先生



自己紹介



新井 美里

mamagaku 学長
社)子育てデザイン総合研究所 理事

お台場からスタートし、武蔵小杉・吉祥寺・有明の商業施設にて全講座赤ちゃん連れOKのママガクを運営。講座と親子イベントで年間約8000名、述べ4万人以上の妊娠中～小学生前後の親子に子育てを学ぶ楽しさを伝える講座や、未来を生きるために必要な能力を育む、世界の教育の基準「対話型」家庭教育クラス、こどもりベラルアーツけんきゅうじょ創立者及びメイン講師として年間300日、累計750講座を担当。

プライベートでは自然と旅、音楽、子育てを愛する、3児の母。子どもたちの個性を発見し伸ばしていく「対話型家庭教育」をベースに、自己表現が大好きな長女は偏差値・テスト・制服・校則がない、競争原理を排除した自由教育を実践する中学校を卒業後、高校に通わず17歳より短大入学資格生として心理学部に在籍中。次女は小学5年生からホームスクーラーとしてサドベリー教育を実践し、公立中学校へ在籍中。長男はモンテッソーリ教育を行う認可保育園を経て、公立小学校へ在籍中。3人ともにHSC(Highly Sensitive Child)の特性を持つ。

事業紹介

2012.4

日本初の子育てを学ぶ・楽しむ・ママのための子育てがっこう mamagaku.【ママガク】を商業施設内にてオープン。



「ある日突然ママになる」

妊娠し出産するまでは10ヶ月しかありません。
誰もが子育ては未知の世界です。

不安や悩みの解決は「子育てを学ぶ」ことで解決できます。



ママの青春を謳歌しよう!
私たちと一緒に



月齢別家庭教育クラス（ニコニコ・ハイハイ・ヨチヨチ・テクテク）

はじめての保活講座 幼稚園お話し会 ベビーマッサージ等

事業紹介

2018.11

幼児期の子どもにとっては一番の刺激となり、主体的に取り組める「おうちでは怒られちゃう遊び」の体験を重ねる過程で非認知能力を養っていく託児型スクール。
現在、有明・吉祥寺・武蔵小杉・東陽町校にて1歳半から小学生までの約100人が在籍中。来年4月に吉祥寺校にて小学生専門「シンボリクス・ラボ（仮）」新規開講予定。

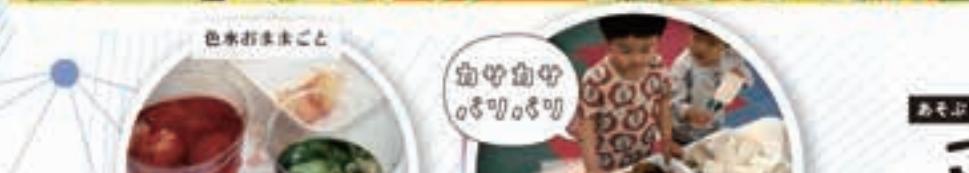
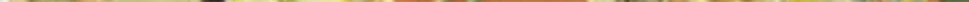


こどもリバーラルアーツけんきゅうじょ. 非認知能力 5つのQ

EQ CQ AQ SQ PQ

Emotional Quotient 心の知識指數	Creative Quotient 创意指數	Adversity Quotient 逆境指數	Social Quotient 社会的指數	Physical Quotient 身体的指力
------------------------------	---------------------------	----------------------------	--------------------------	----------------------------

自制心 自己コントロール力 規則的完璧質（手洗い、オフィス、儀式感等多岐に亘る）	創造力・発想力、開拓性 好奇心、想像力、審美眼 色彩や形の組合せ等で、自らしておける感覚を、ストレッチして向かう気概に	レジリエンス力 問題解決能力 逆境に順応し、土ん坊教育めぐつを駆け足して、自らの感覚が外の人や物に向けられても向かへる感覚を、問題を解決・伸ばすことで強調的に育てる力	外向性、粘着性、 コミュニケーション力 協調性 社会的感覚（手洗い、オフィス、儀式感等多岐に亘る）	クリエイティビティ、継続力、忍耐力、実行力 計画も実現するための、運営と企画を担う力、体力、身体に關する感覚的感覚
--	---	---	--	--



講演会内容

1：自ら勉強する子を育てる＝熱中力について

熱中力 = 好奇心・興味・好きなことから身につく力

集中力 = 「脳が心地よい状態」 実作業で使われる力

2：熱中力がなぜ 勉強に役立つのか

熱中力の仕組みについて

勉強が嫌い = 意味の理解はできているか

子どもの興味から教科へつなげる「学際系教育」について

3：熱中力を伸ばすために必要な「子どもとの新しい信頼関係」とは

子どもの興味を否定しない

大人が前のめりにならない

大人が口出ししない

4：これからの中時代に必要な非認知能力は熱中力の中にある

非認知能力は数値では測れない力

非認知能力と学力の組み合わせがビジネスに必要不可欠

1：自ら勉強する子を育てる=熱中力について

**熱中力 = 好奇心・興味
から身につく力**

自分の中から生じた楽しさで
満たされた「やってみたい！」
「できるかも！」という動機によって
熱中する力



**集中力 = 脳が心地よい
状態は熱中力から育つ**

(集中力は熱中して一点を探求作業
するときに使われる力)

【例】

- ・勉強している時
- ・創作活動をしている時
- ・スポーツをしている時



1：自ら勉強する子を育てる＝熱中力について

熱中力から育つ「集中力」は

脳が心地よい状態

探究心

もっと
知りたい！

学ぶことが
楽しいから
続けたい！

持続力

自分が
納得するまで
やりたい！
やり抜きたい！

グリッド力

レジリエンス力※

※失敗から立ち直る力



2：熱中力がなぜ勉強に役立つのか

熱中力の仕組みについて

01

自発的な興味

「知りたい」「やってみたい」「できるかも！」



↑↓ 繰り返す

02

遊びの展開

発見と問題解決

↑↓ 繰り返す

03

達成感・満足感

熱中力

【例】大量のすずらんテープから遊びの展開／小学1年生

01



やほー！

飛べー！



02

あ！閃いた！



このテープを使ってクリスマスプレゼントにもらったおもちゃの織り機みたいに、編み物ができないかな？→机をひっくり返して机の足を使って試し始める。



2：熱中力がなぜ勉強に役立つのか

熱中力の仕組みについて

01

自発的な興味



やほー！



- 教材の性質（形状・質感）
長さ・紐状・色
半透明・軽い等
- どんなことができるのか（触って試す）
- どんな遊びができるか考える
- 発想を **実行** に移す

【例】大量のすずらんテープから遊びの展開／小学1年生

02

遊びの展開

身近な物・経験

自己肯定力 実行

このテープを使ってクリスマスプレゼントにもらったおもちゃの織り機みたいに、編み物ができないかな？→机をひっくり返して机の足を使って試し始める。



03

達成感・満足感



- 想像した結果にならない場合 **試行錯誤** する。
- 自分が想像していた展開とは違う遊びの **新たな発見**。
- 自分の中に想像する結末まで **やり抜く力** が生まれる。

2：熱中力がなぜ勉強に役立つのか

こどもリバーラルアーツけんきゅうじょ。シンボリクス

熱中力の仕組みについて

【例】マスキングテープ遊び／年長・小学1年生・小学2年生

・教材の性質（形状・質感） 長い・貼れる・好きな長さで簡単に切れる・色 など



2：熱中力がなぜ勉強に役立つのか

問題解決が必ず生まれる

こどもリバーラルアーツけんきゅうじょ。シンボリクス

【例】マスキングテープ遊び／年長・小学1年生・小学2年生

・教材の性質（形状・質感） 長い・貼れる・好きな長さで簡単に切れる・色 など



2：熱中力がなぜ勉強に役立つのか

勉強が嫌い = 意味の理解はできているか

発見と問題解決

- 想像した結果にならない場合
試行錯誤 する。
- 自分が想像していた展開とは
違う遊びの**新たな発見**。
- 自分の中に想像する結末まで
やり抜く力 が生まれる。

**問題の意味を
理解しようとする力
= 問題を読み込む力**

**熱中力があれば
何事にも興味を持ち探し、**

主体的な学びへと繋がる

2：熱中力がなぜ勉強に役立つのか

子どもの興味から教科へつなげる「学際系教育」について

学際系教育とは？

1つの単元をもとに国語・算数・理科・社会へと「興味から“つなぐ”ことで思考を深める」学びの手法です。教科横断型とも言われます。

興味を
教科へ
つなぐ

【地名】→国語（漢字）
→社会（地理）
【恐竜】→理科（生物・地層）

固まる砂で
作った
日本地図

昔、日本に
恐竜がいた場所
はここだよ！
(恐竜化石が
発見された場所)

恐竜が
大好きな
k君

2：熱中力がなぜ勉強に役立つのか

子どもの興味から教科へつなげる「学際系教育」について



体験を
教科へ
つなぐ

【一体何個の紙コップで出来上がったんだろう？】

問題

一番下の段は20個、20段積み上げました。
何個の紙コップを使ってますか？

答え

$$20+19+18+17+16+15+14+13+12+11+10+9+8+7+6+5+4+3+2+1 = \mathbf{210\text{個}}$$

【小1 算数：長さの概念】 積み上げると高く長くなる
【小3 算数：重さの概念】 高くなると重たくなる

2：熱中力がなぜ勉強に役立つのか

子どもの興味から教科へつなげる「学際系教育」について



小学5年生次女
(現在中学3年生)

熱中力を
身につけた過程

01

自発的な興味



5歳の頃、大好きな
お金で数を自分で
勉強し始める

01

自発的な興味



小学2年生の頃から
ダンボール工作に
熱中し始める

02

遊びの展開



03

達成感・満足感



本物のペットボトルで遊べる
ダンボール自動販売機

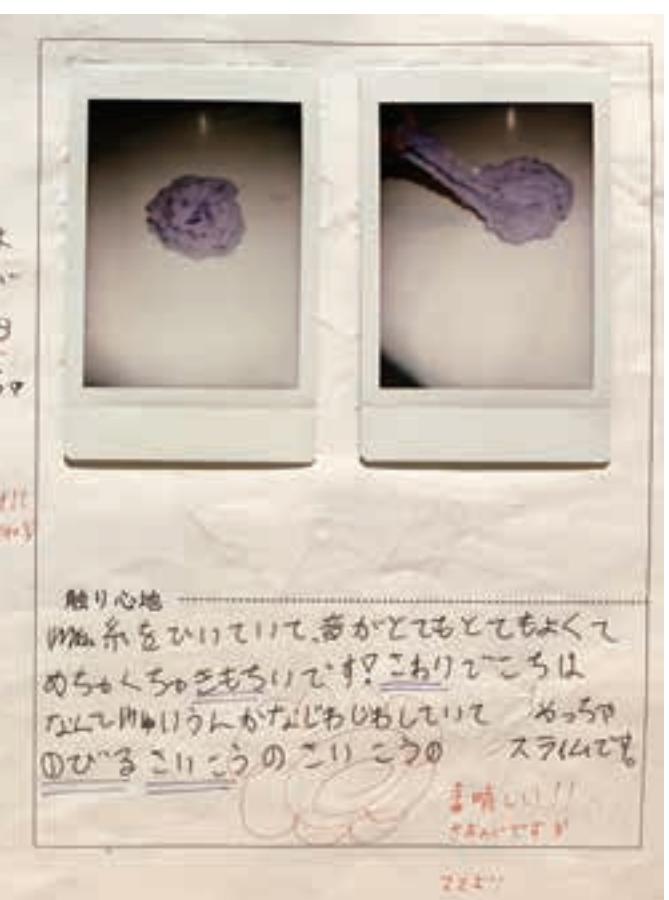
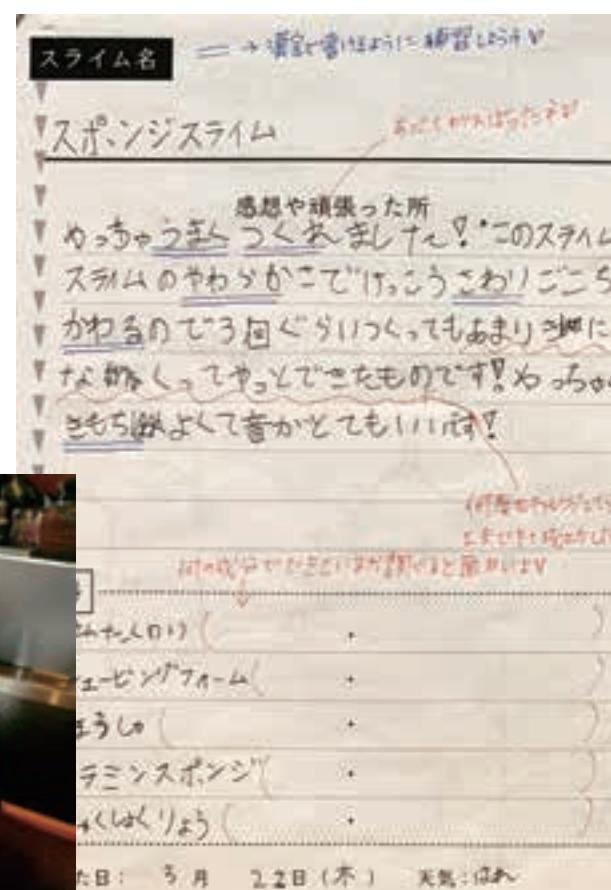
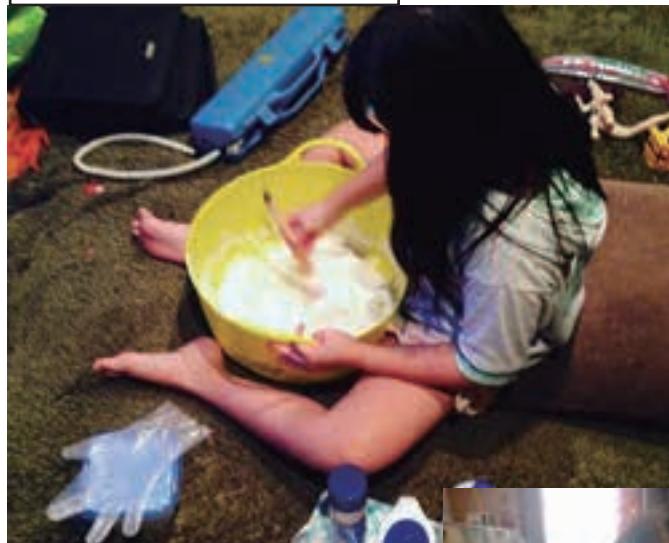
主人が現場から
巨大なダンボールを
もらってきて
作り始めました

2：熱中力がなぜ勉強に役立つのか

子どもの興味から教科へつなげる「学際系教育」について

化学式を探求し始めたきっかけ

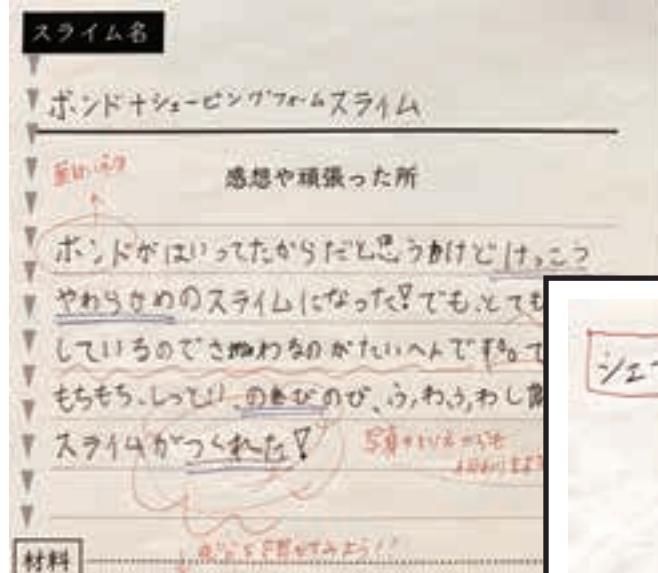
工作系 YouTube の関連でスライム作りの動画を見て興味を持ち、材料を100均で購入して自宅で熱中し始める → 様々な資材で試行錯誤する → 腐るスライムの発見



作ったスライムの作り方・混ぜたもの・感想や経過を観察を「わくわくノート」にまとめました。

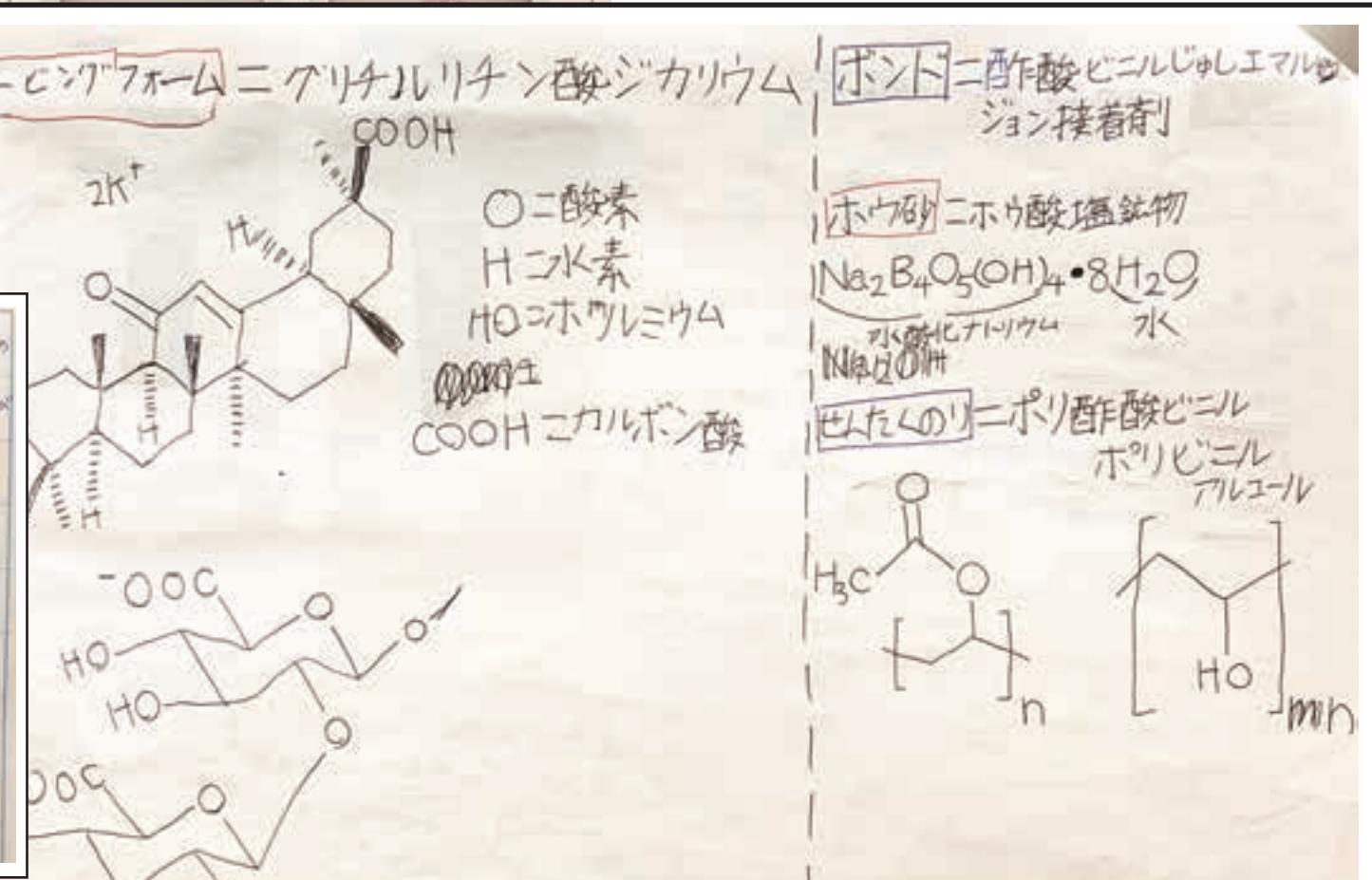
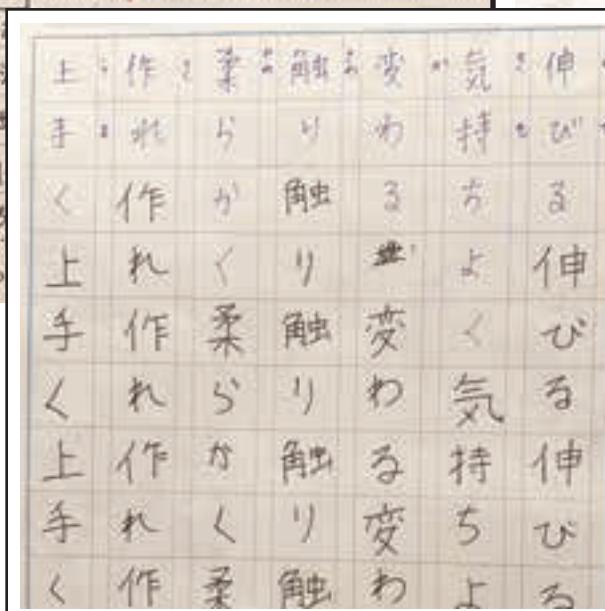
2：熱中力がなぜ勉強に役立つか

子どもの興味から教科へつなげる「学際系教育」について



興味を
教科へ
つなぐ

国語（漢字）
理科（化学）
算数・国語



2：熱中力がなぜ勉強に役立つのか

子どもの興味から教科へつなげる「学際系教育」について

スライムをテーマにした
学際系教育事例

理科

- スライムに色を付けるにはどんな物があるか試して、違いを観察しよう。
【例】プリンターインク、絵具、食紅など
- 光にあてた時の色の変化を観察しよう。
- スライムの感触を変えるために混ぜる物はどう変わるかを1つづつ実験してみよう。
- 日数が経過すると共に変化が出てきたスライムを観察しよう。(固さ・匂い・色の変化)
- 変化の原因となった物は何かを考えて調べてみよう。

【混ぜる物】

【原材料】

色を
つける

洗濯のり

様々な
感触を
作る

制作後
の変化



水

ホウ砂

- 名前の由来を調べよう。 ◀ 社会

- なぜ洗濯のりがスライムを作るために必要なのか？共通問題の各成分からも調べてみよう。 ◀ 理科

- 水には「三態」があります。 気体・液体・固体について調べてみよう。 ◀ 理科

- 水はなぜ「透明」なのか？
□「水」を使う漢字を書き出してみよう。 ◀ 国語

- ホウ砂は元々何に使うもの？ ◀ 理科

- なぜ薬局に売っていてスーパーには売っていないのか？ ◀ 社会

【混ぜる物の例】ボンド、シェービング、フォーム、ハンドソープ、リンス、粘土、樹脂粘土、ニベアベビーパウダー、コンスターチ、ティッシュ、発泡ビーズ、ビーズラメ、フィッシュボール、液体のり

算数

理科

- どこで買えるか？ ◀ 社会

- 1本いくらで販売されているか？

- 1つのスライム作りに必要な分量を計算しよう。 ◀ 算数

- 各成分について調べてみよう。 ◀ 理科

- 調べた中の漢字を抜き出して覚えよう。 ◀ 国語



3：熱中力を伸ばすために必要な「子どもとの新しい信頼関係」とは

子どもの興味を否定しない



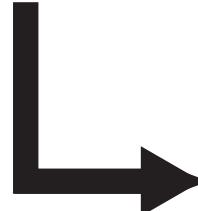
子どもの興味に寄り添う

- ・勉強以外の会話をしますか？
- ・大人の意見を子どもに押し付けていませんか？

大人の価値観だけで判断せず
子どもの興味に
大人も興味を持つ。

3：熱中力を伸ばすために必要な「子どもとの新しい信頼関係」とは

【事例】当時13歳の長女にガスマスクが欲しいと言わされた私。



原宿系ファッショント
話題になっていることを知る



小さな共感を築くことで
普段の会話の信頼関係ができる



大人の言ふことは
うるさい(拒否したい)という
先入観を持たなくなる



3：熱中力を伸ばすために必要な「子どもとの新しい信頼関係」とは



信頼関係を築くコミュニケーションの基本



01

問い合わせ

どうしたの？

【事例 1】小学 4 年生の息子が下校途中にカエルを拾い、ズボンのポケットに入れて帰ってきた話。

【事例 2】中学 2 年の頃、長女の中学校の文化祭でコスプレするから衣装を買って欲しいと相談してきた話。



02

共感をする

大人の意見を押し付けない

03

子どもの意見を聞く

04

子どもの意見に共感しながら大人の意見を伝える

対話から思考力が鍛えられる

論理的思考（ロジカルシンキング）
を意識しながら対話をしようとする

【事例 2】の対話の中での論理的思考

- ・事前に比較対象をリサーチしている
- ・相手も経験したことも交えて伝える

説得材料 1

説得材料 2

+ 大人が前のめりにならない

大人が口出ししない

→ 集中力が切れる

4：これからの時代に必要な非認知能力は熱中力の中にある

非認知能力は数値では測れない力

数がわかる、字が書けるなど、数値（点数）で測れる力を「**認知能力**」、IQなどで測れない内面の力を「**非認知能力**」と呼びます。

非認知能力と学力の組み合わせがビジネスに必要不可欠

コミュニケーション力・主体性・自制心・自己肯定力・実行力・集中力・リーダーシップ・創造性・探究心・共感性・協調性・グリッド力（やり抜く力）・レジリエンス力（失敗から立ち直る力）など

【例】新しくビジネスを立ち上げようとした時に必要な非認知能力は、集中力（夢中になる力）・グリッド力・レジリエンス力・情報処理能力・コミュニケーション力 など。

NASAやJAXAで採用されたパイロットのほとんどは「子どもの頃から宇宙に夢中だった」「子どもの頃から宇宙飛行士になりたかった」という大人になつても冷めない宇宙への熱中力をもつ人。

【東洋経済オンライン】「遊びの時間が足りない子」の結構残念な行く末

- 子どもでいられる時間の重要な意味と意義 -

NASA や JAXA は採用の過程で、小児期と思春期に手を使ってユニークな遊びや作業をした経歴を持つ卒業生の獲得を優先し始めた。子どものときにものを作り、遊んだ経歴に特徴のある人が、問題解決をいちばん得意とする人たちだった。



ノーベル経済学賞受賞者
ジェームズ・ヘックマン教授



4：これからの時代に必要な非認知能力は熱中力の中にある



人生100年時代の到来

働き、学び、働くという時代へ

【変身資産について】 LIFE SHIFT より

3ステージ（教育・仕事・引退）の100年来ライフでバランスを取るとすれば、必然的にマルチステージの生き方が広がるだろう。まずは最初の教育期間が長くなる可能性が高い。もう一つ予想されることは、勤労期間が細切れ化することだ。テクノロジーの変化が加速し、産業の興亡のペースが速まる時代には、**スキルを学び直す期間を設ける必要性が高まる**のだ。

知識を詰め込む勉強ではなく、主体的に勉強に取り組む子を育てる必要性

熱中した経験は、大人になると点が線へと繋がる。

非認知能力の土台は
熱中力の中にある

最後 に新井から皆様に伝えたいこと



**大人が変われば
子どもも変わる**

長時間のご視聴、ありがとうございました
ママガク学長 新井美里（一般社団法人子育てデザイン総合研究所 理事）